

国立情報学研究所 電子図書館 論文情報ナビゲータ (CiNii) への参加について

1. 国立情報学研究所電子図書館 (NII-ELS)

NII-ELS は我が国の学協会のご協力を得て、作成を行っているデータベースです。主な特徴は次のとおりです。

- ・我が国の学協会が発行する学術雑誌を収録
- ・検索システム
 - ・検索サービスは、当研究所の [CiNii \(NII 論文情報ナビゲータ\)](#) を利用。(CiNii では、他の論文データベース(国立国会図書館の雑誌記事索引等)と総合的な検索が可能)
 - ・CiNii のディレクトリ検索により、学協会や雑誌単位からの [ディレクトリ表示](#) に対応。
 - ・CiNii の書誌検索、一覧表示は、誰でも無料で利用可能。
 - ・国内大学等の学術機関が多く機関利用を行っているため、大学等の研究者への visibility が高くなります。
- ・著作権処理

刊行元である学協会により電子化・公開の処理を実施。本文コンテンツについては、学協会により雑誌毎に価格設定、公開時期設定が可能。CiNii が著作権使用料金をユーザから回収し、各学協会へ配分を行います。
- ・学協会の負担

電子化作業及びデータベース公開に関わる費用は CiNii が負担します。

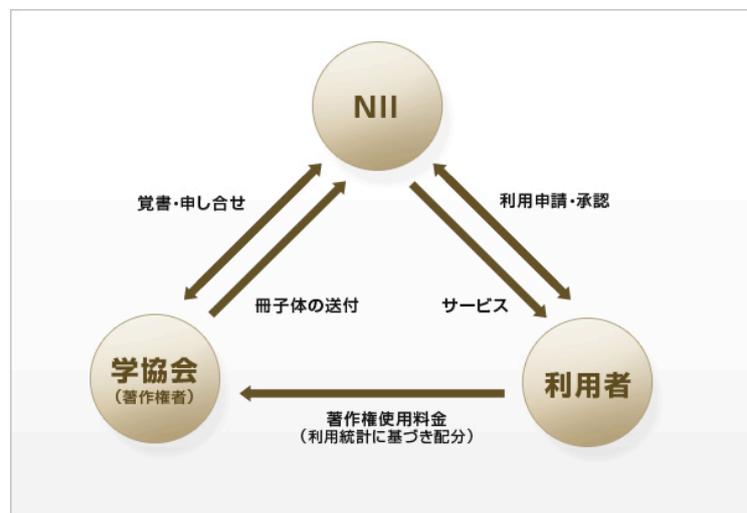
<http://ci.nii.ac.jp/>

2. 学協会から見た NII/ELS の機能的特長

学会誌を発行する学協会側から関心のある事項として、次のような特徴を持っています。学協会側では、雑誌毎に次の設定が可能です。

- (1) 著作権使用料の有料（金額設定）及び無料の設定
- (2) 学術雑誌の新刊号の電子図書館での公開開始時期の設定書館サービス

著作権者である学協会とサービス提供機関である国立情報学研究所及び利用者との間の権利処理の概要は、次のようになります。



3. 著作権

1. 基本的な考え方

研究所は学術論文の著作権を尊重し、各学会誌に掲載される学術論文の著作権処理を集中している学協会に対して、当該学術論文の電子図書館サービスでの利用許諾をいただくことにしております。

2. 著作権の学協会への集中等

学協会の学術論文の著作権処理に関しては、学協会著作権協議会（学術著作権協会と改称）がまとめられた『著作権の集中と学協会（1996年新版）』に詳しい紹介があります。学協会として、学会誌への掲載（掲載論文）に関して著作権の管理の集中が行われていない場合は、学協会での調整をお願いします。

電子図書館サービス参加にあたっての具体的な手続き例としては、本研究所の電子図書館への参加及び学会誌への掲載論文の著作権は学協会に帰属することに関して学会の総会で議決していただいたり、学会誌の会告に本研究所の電子図書館への参加及び学会誌への掲載論文の著作権は学協会に帰属することを一定期間、告知していただき、異論がないことをご確認していただくなどがあります。

また、学会誌の投稿規定で、「○○学会誌に掲載された論文の著作権は○○学会に帰属する」

など著作権の帰属を明確にする方法があります。

3. 著作権使用料の単価設定

著作権使用料金については、各学協会が自らの著作物に係る著作権使用料金を単価設定することができます。

1. 有料、無料の区分
2. 利用者が、自学会員か非学会員かの区分
3. 学会誌毎に、巻（Volume）あるいは刊行年単位に単価(論文単位)の設定

これにより、例えば、一定以前のバックナンバーの利用については無料とすることもできます。なお、会員・非会員で単価設定を変更する場合、当該利用者が会員か非会員かの確認を各学会にお願いすることになります

4. 公開開始時期の設定

学術雑誌の販売、特許の扱い等を考慮して、当該雑誌の電子図書館における公開時期を学協会自身で設定することができます。

5. 著作権使用料金の学協会への還元

当研究所が利用された雑誌の著作権使用料金を利用者へ請求し、各学協会へ還元します。

4. 対象学協会の基準

1. 日本学術会議協力学術研究団体であること

電子図書館サービスに参加するには、学協会は以下の要件を満たすこととします。

1. 非営利団体であること
2. 目的達成のため年1回以上の集会、刊行物の発行を行っていること
3. 今後も継続的に活動を行っていくこと
4. 会則等に名称、目的、構成員の資格等の定めがあること
5. 構成員が特定の地域または団体に属するものに限られていないこと
6. 役員の過半数が科学者であること

5. 公開している団体

建築学会、自然災害学会、機械学会、情報処理学会、地盤工学会、ほか

NII-ELSへの参加手続き(手続きの流れ)

本研究所の電子図書館サービスへの参加 及び学会誌の提供を開始するまでの流れは、おおよそ次のようになります。

